

第3学年体育科学習指導案

日 時	平成16年9月9日(木) 1校時
場 所	奥中山小学校 校庭
児童数	男子9名 女子9名 計18名
指導者	佐々木 詳子

1 単元名 ラインサッカー(Bゲーム サッカー型ゲーム)

2 単元について

(1) 運動の特性

本単元は、学習指導要領において、第3学年および第4学年の「Bゲーム(1) 技能の内容 bサッカー型ゲームに位置づけられている。

「サッカー型ゲーム」は、コート内で攻守入り交じってボールを主に足で扱い、簡単な技能を身につけて、ゲームが楽しくできるようにすることをねらいとしている。思いきり体を動かしたり、ボールをドリブルしたり力いっぱい蹴ったりできる運動であるサッカーは、シュートやパスが成功したときの喜びが大きく、それは誰もが求めている欲求である。反面、人やボールに対して恐怖をもちやすい運動となったり、ボールを上手にけったり止めたりすることが難しいと感じたり、逆により高い技能を望んだりすることも見られるなど、個人差の大きい運動でもある。

(2) 児童から見た運動の特性

3年生の時期は仲間意識が強くなり、自己顕示欲も強くなる。また、動きは自己中心的になりがちである。このことから、思いきり体を動かして、友だちと仲良く協力してゲームをすることが、サッカー型ゲームの楽しさを味わうことにつながる。そのためにも、機能的特性だけでなく、学級の一人ひとりの思いや願いを把握して指導いく必要がある。

(3) 児童について

休み時間を待っていたかのように、元気に遊びに行く子どもたちである。サッカーについて聞き取り調査をした結果、サッカーというスポーツがあることは知っているが、休み時間等にサッカーをしたことのある児童は4名しかいなかった。ルールについては、ごく簡単なこと(ボールは手で触れない、相手ゴールに入れるなど)については知っている。サッカーについて、知識・経験とも不足している。

自分たちで、ルールを作ったり作戦を立てたりすることは、かけっこ・リレーで経験してきているが、ルールや場を工夫することによってよりゲームが楽しくなるという経験は少ない。

(4) 指導にあたって

サッカーをした経験が少ない児童なので、サッカーという運動が楽しいということを味わわせるような場を設定し学習をすすめていきたい。また、チーム内や対抗戦でゲームを楽しむような形態をとりながら、興味・関心を引き出していきことや、役割分担をしながらゲームを進める活動を行わせていきたい。

そのために、めあて「ボールをけて楽しもう」の活動では、ドリブルやパス、シュートを行い、楽しいという感覚を養いたい。また、めあて「簡単なルールでゲームを楽しもう」の活動では、パスをつないだりドリブルで進んだりしてシュートに結び付けていく作戦を考えさせながら取り組ませていきたい。

3 指導計画

(1) 単元名 「ラインサッカー」(ゲーム サッカー型ゲーム)

(2) 目標 ゲームの規則を知り、簡単な技能を身につけ、友達と仲よく協力し、簡単な規則を工夫して、ゲームが楽しくできる。

関心意欲態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲームが楽しくできるように、規則を工夫しながら意欲的に運動しようとする。 ○仲間と励まし合いながら、協力して安全にゲームをしようとする。 ○ルールを守り、審判の判定に従って公正にゲームをしようとする。
思考判断	<ul style="list-style-type: none"> ○ルールを工夫したり、新しいルールを作ったりしながらゲームをすることができるようにする。 ○自分のめあてやチームのめあてを考え、チームの作戦や練習に合わせて、チームで協力してゲームをすることができるようにする。 ○安全に気をつけて練習をしたりゲームをしたりすることができるようにする。
技能(感覚動き)	<ul style="list-style-type: none"> ○パスやドリブルを使って攻め、簡単な連携プレーを使ってゲームをすることができるようにする。 ○方向を決めてパスをしたり、あいている位置へボールをつなぎ、パスやシュートをすることができるようにする。

(3) 学習計画 9・10月 10時間

段階 時間	つかむ 1・2	できる・たかめる										まとめる 10	
		3・4・5			6・7・8・9								
評価 計画 画	関心意態	・ラインサッカーの学習に期待感を持っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールや決まりを守って、楽しくゲームに参加している。 ・勝敗を素直に認めることができる。 ・メンバーに慣れ、進んで学習に参加している。 										
	思 判	・自分たちの力を考えながら、めあてを立てている。	<ul style="list-style-type: none"> ・めあて(作戦)をもち、練習やゲームをしている。 ・友だちのよいところを認め合ったり、教えあったりしながら学習をしている。 ・みんなが楽しめるようなルールを考えたり、作戦を立てたりしてゲームをしている。 										・学習を振り返り、めあての達成度や課題を見つけている。
	技		<ul style="list-style-type: none"> ・体のいろいろな部分(足、胸、頭)を使ってボールにタッチすることができる。 ・パスをつないだり、ドリブルをしたりすることができる。 ・簡単な連携プレーをすることができる。 										
主 な 学 習 活 動	学習の見通しを持ち、学習計画を立てよう。 1 学習のねらい、内容をつかむ。 2 学習の進め方を知る。 (1) 用具の準備と後始末 (2) 学習カードの使い方 (3) ルールとマナー (4) 学習の道筋 (5) 安全や協力の約束 3 チームの編成と役割分担をする 4 基礎的な動きの練習をする。 ・パス ・ドリブル ・シュート 5 学習の見通しをもつ。	めあて ボールをけて楽しもう 1 パスをしよう。 2 ドリブルをしよう。 3 シュートをしよう。 めあて 簡単なルールで総当り戦のゲームをしよう。 1 めあて、ルール、対戦相手などを確かめる。 2 チームごとに基礎的な動きの練習をする。 3 ゲームをする。(第1試合) 4 ゲームの反省をする。 5 ゲームをする。(第2試合) 6 ゲームの反省をする。 7 ゲームをする。(第3試合) 8 反省と学習のまとめをする。	めあて ねらった場所にボールをけて楽しもう 1 あいてにパスをしよう。 2 あいてとドリブルをしよう。 3 パスとドリブルをつないでシュートしよう。 めあて 自分たちの力に合った簡単な作戦を立てて、対抗戦のゲームをしよう。 1 めあて、ルール、対戦相手などを確かめる。 2 ゲームをする。(第1試合) 3 ゲームの反省と練習をする。 4 ゲームの反省と練習をする。 5 ゲームをする。(第2試合) 6 ゲームの反省と練習をする。 7 ゲームをする。(第3試合) 8 ゲームの反省と学習のまとめをする。	サッカー大会をしよう。 1 めあて、ルール等を確認する。 2 サッカー大会をする。 3 単元の総まとめをする。									
	個に 応じ た 支 援	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの方法や基本のルールを絵図などを使って説明し、学習の意欲をもたせる。 ・チーム分けは、同じ力になるように留意する。 ・役割分担を明確にして、学習がスムーズに進むようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをしていて困ったことや改善してほしいと思うことを発表させ、それを解決しながらルールを工夫していくことを学ばせる。 ・練習方法などの資料を用意し、自分たちで選んで練習できるようにしておく。 ・意欲的に活動できているチームを賞賛し、全体的にも意欲を高めるようにする。 ・児童の実態に応じて、基礎的な技能練習が必要な場合は、適宜取り入れる。 ・ゲームの特性を味わえるように、ルールを工夫し全員がゲームを楽しめるようにさせる。 										

～ アンケート

～ 観察

～ 学習カード

～ 発表

4 本時の指導 4/10 時間

(1) 本時の目標

【運動への関心・意欲・態度】

ルールやチームのメンバーに慣れながら、ゲームに集中している。

【運動についての思考・判断】

みんなが楽しめるようなルールを考えたり、作戦を立てたりしてゲームをしている。

(2) 評価と指導の手だて

到達状況 評価規準	A:十分に満足できる	B:おおむね満足できる	「C:努力を要する」と判断された児童への指導の手だて
【運動への関心・意欲・態度】 ルールやチームのメンバーに慣れながら、ゲームに集中することができる。	・新しいゲームに十分関心を示し、進んで準備をしたり、後片づけをしたりしようとする。 ・常に作戦を意識してチームのメンバーの動きに目を配り、友達のよい動きや態度を賞賛しようとする。	・新しいゲームに関心を示し、進んで取り組もうとする。 ・作戦を意識して友達のよい動きや態度を認めようとする。	・シュートする場所を変えることで、ボールを蹴ってゴールする楽しさに気づかせる。
【運動についての思考・判断】 みんなが楽しめるようなルールを考えたり、作戦を立てたりしてゲームをすることができる。	・チームのメンバーが楽しめるようなルールや活動の場を考え、提案している。	・友達の意見に耳を傾け、ルールや活動の場の工夫について考えている。	・ルールや活動の場を教師や友達に教えてもらいながら、運動に取り組ませる。

(3) 展開

段階 (時間)	学 習 活 動	支援(指導上の留意点) 評価 人権教育の観点から強調したり、留意したりする点	備考
導入 7分	準備・集合・整列 1 準備体操をする。 2 学習内容を確認する。 3 体ほぐし的な運動をする。 ・フリー走・片足立ち・ギャロップ	・係を中心に体操を行う。 ・今日学習することとその順序を確かめる。 ・いろいろな運動を行う中で、心と体をほぐし、意欲的に活動できるようにする。 補助運動を意欲的に行っているか。	

座席表

<p>M サッカーは好き。 話し合いに参加するが、 友達のことを考えた言動 が少ない。友達によさに 気づいたときにほめる。</p>	<p>G サッカーが好き。 友達のことを考えたル ールを決めたり役割分 担ができる。みんなの 前で発表させ、認める。</p>	<p>A 運動が好き。 話をよく聞き、やってみよ うとする。サッカーの経験 はないが、確実にこなそう とする。</p>
<p>N ボールを上手くコントロ ールできるよう、めあて での活動を十分に行わ せる。</p>	<p>H 自分ができないと意識 すると、萎縮してしま う。ボールを蹴ったり 転がしたりする活動を 通して、苦手意識を取 り除く。</p>	<p>B ボールに触れることが楽 しいと思えるようにさせ る。そのために、めあて での活動でボールを蹴る 回数を多くし、ゴールが決 まったら、ほめる。</p>
<p>O スポーツは好き。 何事にも一生懸命に取り 組む。友達によさに気づ き発表できる。</p>	<p>I 走力がある。めあて での活動は、それを生 かしたボールコントロ ールを行えるように支 援する。できたら、ほ める。</p>	<p>C 体育が好き。 技能面を認めることと同 時に、友達のことを考えた 行動ができたときに、ほ める。</p>
<p>P サッカーの経験あり。 技能的に上。チーム内で 教えている姿をほめる。</p>	<p>J スポーツが大好き。 サッカーの経験はない が、チームで活躍でき る技能がある。友達 のことを考えた行動が できたとき、認める。</p>	<p>D 自分の考えをチーム内で 発表できる。役割分担を するとき、友達のことを考 えたわけ方ができたとき、 ほめる。</p>
<p>Q 頑張っについてくる。 上手くボールを蹴れない と思われるので、ボール に触れる回数を多くし、 楽しさを感じさせる。</p>	<p>K ゲームで楽しく活動で きるよう、役割分担時 に支援する。</p>	<p>E 自分が1番になりたいと いう気持ち強い。他人を 思いやる気持ちを持てる ように支援する。</p>
<p>R 人前で発表することを苦 手とする。友達によさを 見つけることができるの で、自信を持たせて発表 できるように支援する。</p>	<p>L 友達のことを考えた行 動ができるように、配 慮する。楽しく活動し ている場面を見逃さ ず、ほめる。</p>	<p>F 全力でボールを追いか けたり蹴ったりする活動 を通して、楽しいと感じるよ うにする。十分に取り組 ませ、よさを認める。</p>

3班

2班

1班